

3学年コーナー

各自がベストを尽くす6月

学校周辺の木々の緑が深みを増し、水田に映る青空が清々しい季節になりました。最高学年になって2ヶ月。平穏な学校生活の中、実力テストや進路説明会などの刺激があり、3年生ならではの行事が続き、改めて「受験生」ということを意識したのではないのでしょうか。

さて、3年生は今、8月の修学旅行に向けて班別学習のテーマに沿って調べ学習を行い、班新聞にまとめています。

また、6月10日、11日に行われる定期テストに備え、各自で計画を立て、勉強に取り組んでいます。定期テストが終わると、部活動によっては、総体やコンクールまで1ヵ月となり、「引退」の文字も頭をよぎる時期です。

3年生になると全てのことに“最後”の文字がつく寂しさを実感していると思います。これまで仲間と共に努力し、楽しいことや辛いことなど、たくさんの思い出が詰まった部活動も本当に最後の1ヵ月です。

自分自身が今できること、このチームで今しかできないことをやり遂げてほしいと思います。今まで一緒に努力してきた仲間と気持ちをひとつに、残された部活動の時間を悔いのないように過ごしてほしいと願います。



梅雨が始まる季節になりました。むし暑かったり、肌寒くなったり、気温差が大きくなりますので、衣服をうまく調節しましょう。

6月の保健行事

検査項目	日時	注意事項
歯科検診	6月2日(水)	1年生、2年3・4組が対象です。朝の歯みがきを忘れずに。
内科検診	6月4日(金)	1年生が対象です。女子はキャミソールまたはタンクトップの準備をお願いいたします。
心電図検査	6月16日(水)	体操服とジャージを持参しましょう。
内科検診	6月17日(木)	2年生が対象です。女子はキャミソールまたはタンクトップの準備をお願いいたします。
尿検査2次2回目	6月18日(金)	最終日です。忘れず提出しましょう。
内科検診	6月23日(水)	3年生が対象です。女子はキャミソールまたはタンクトップの準備をお願いいたします。
脊柱側弯症検診	6月29日(火)	体操服とジャージを持参しましょう。

端末(タブレット)利用時の約束

- タブレットを使うときは姿勢をよくしよう
目から30cm以上離して見よう。
- 30分に1回はタブレットから目を離そう
30分に1回は画面から目を離し、遠くを見よう。
- ねる前はタブレットを使わないようにしましょう
ねる1時間前からはデジタル機器を使わないようにしましょう。
- 自分の目を大切にしよう
時間を決めて遠くを見たり、目が乾かないようまばたきしたりしよう。
- ルールを守って使おう
() 分ったら1回休む。勉強に関係ないことに使わない等ルールを守ろう。

1学年コーナー

充実の校外学習～養老溪谷～

今年は、各地で平年より早い梅雨入りとなり、校外学習当日も雨が降ることが心配されていました。しかし、そんな心配はどこへやら、5月25日(火)は晴天となり、熱中症が心配されるほどの良い天気となりました。

雄大な自然のなか行ったオリエンテーリング、友人と一緒に食べたお弁当など、たくさんの思い出をつくることができたのではないのでしょうか。それらはすべてかけがえのない宝物です。

廊下に掲示されている皆さんの思い出を読んでもみると、事後集会で話したこと、「自立」「自律」「感謝」について書いている人がいました。

今回の校外学習では、たくさんの思い出ができるとともに、多くの「学び」もありました。各係での活動を通して責任と役割について学び、しおりをよく読んで自ら行動することは「自立」や「自律」に触れるよい機会となりましたね。

また、このような状況のなかで校外学習に行くことができたのは、たくさんの人たちの支えや協力があったからこそであること、「感謝」する気持ちを持ち、今回の校外学習が今後の学校生活にきちんと生かすことができるようにしましょう。

文責 猪谷 龍哉

2学年コーナー

中学校生活初となる校外学習が5月27日に行われました。前日までの天気予報が悪天候が予想される中、てるてる坊主を作って予報が覆ることを祈っていた生徒もいました。しかし、願いもむなしく、当日はビニールハウスをたたきつける激しい雨が降り、良い条件が整わない中での校外学習となりました。

そのような中で、表情を曇らせてしまう生徒も多くなるのではないかという大人の不安を吹き飛ばすように、生徒たちの明るく輝かしい笑顔が多くに見られ、その姿に心の成長を感じ、嬉しい気持ちに満たされる1日となりました。

木更津のKURKKUFIELDS(クルックフィールズ)では雨天コースに変更となり、①講座(クルックフィールズの中で行われていること・目指していること)、②寄せ植え(ハーブ)、③ハウス収穫(かぶ)、④堆肥舎見学の4つの活動を、クラスごとにローテーションをして行いました。活動の中から、様々な学びがあり、現在の生活の中で考えていかなければならない、SDGs(持続可能な開発目標)について、肌で感じる機会を持つことができたようです。

また、校外行事を昨年実施できなかった分まで充実させ、成功させようという、生徒たちの熱い、温かい思いが多くの場面で感じられるものとなりました。これらの学びを、学校生活の中でさらに確かなものにしてほしいと願っています。

文責 川勝 典子

